

高次脳機能障がい部会 報告書

会議名	第2回 高次脳機能障がい部会
開催日時	令和6年1月13日（土）13時30分～16時40分
開催方法	ハイブリット方式（板橋区役所教育支援センター研修室、オンライン Zoom 方式併用）
出席者数	64名（内6名オンライン参加） （内訳）部会長1名、副部会長1名 支援者：板橋区立障がい者福祉センター4名、区内介護事業所3名、 都心身障害者福祉センター1名、ワーキングトライ1名、 就労支援センターリハス2名、おむすび5名、のびるの会1名、 虹の会2名、スイスイの会1名、 竹川病院2名、豊島病院3名、健康長寿医療センター1名、 慈誠会徳丸リハビリテーション病院4名、五香病院1名、 イムス板橋リハビリテーション病院1名 目白大学1名 行 政：障がい政策課3名 当事者・家族：26名

第1部 現状説明

題 材	1 当事者・家族の語り、2 家族支援について
概 要	1 当事者 家族の語り「事例とその家族のストーリー」 ・当事者の方 ご家族 インタビュー 当事者の発症前、発症直後の様子と現在の様子、ご家族の支援 など 区立障がい福祉センター 作業療法士 潮 昌子 氏 2 家族支援について 区立障がい福祉センター 相談員 山口 圭一 氏 ・医療、福祉、本人、家族の急性期から社会復帰までの視点や意識の差について ・板橋区の家族支援に関する社会資源

第2部 1 情報交換会

概 要	各団体の紹介、事業PR ・板橋失語症虹の会 ・板橋区失語症若者の会 スイスイの会 ・いたばし高次脳機能障がい家族会 ・みんなのセンターおむすび ・中途障害者と家族の会 のびるの会 ・高次脳機能障害さいたま これからの道 他
-----	---

第2部 2 グループワーク

題 材	本日の感想、当事者・家族・支援者などの現状
グループ数	10グループ（対面 9グループ、Zoom 参加者 1グループ）
メンバー	5～6名の参加者とグループファシリテーター

参加者を当事者、家族、支援機関職員、医療機関職員、行政職員等を各班に分け、第1部の感想や、当事者・家族、支援者の現状や思い、問題点などを話し合った。

※資料作成時点での報告書提出班のみ記載。

1 班

- ・家族への支援は必要。ご家族の方は将来への不安を強く感じている。
- ・制度が整っていても、申請主義という非常に難しい立ち位置での支援が必要。その状況の中で本人、家族と線で関わって支援していく人（若しくはシステム）があれば、切れ目のない支援ができると思う。

2 班

- ・家族がサービスに関する情報を得られにくい状況がある。
- ・家族会が多様な家族のニーズに応えられるような規模となっていない。（比較的若い世代の悩みに対応できていない。）
- ・介護保険の認定が下りてしまうと障がいサービスが一部を除いて使用できなくなる。
- ・就労支援をどこから手とつけていいのかわからない。

3 班

- ・早期にリハビリを開始することと、本人の意欲が大切。
- ・当事者会の存在は大きい。
- ・家族支援が少なく、家族はリフレッシュの時間が取れない。
- ・行政への繋げ方がよくわからない。
- ・病院の入院中から行政への繋ぎ方や相談先、退院後の支援等サービスの提案が欲しい。

6 班

- ・急性期病院退院時にADLが自立していたためか、高次脳機能障がいについての説明がなく、退院してから気付き支援を求めるのが大変だった。回復期病院でも家族への説明や支援の情報提供について重要であることや、高次脳機能障がいの支援の仕組みは様々な制度にわたり複雑なため、確実にワンストップに繋げる大切さを再確認した。

8 班

- ・親亡き後は大きな課題。。家族のレスパイトも必要。
- ・発症が幼少期の家族は、子どもの頃はあまり問題も感じていなかったが、大学入学後、できないと思うことが増え始め、当事者本人は焦りや苛立ちを感じている。
- ・第1部の事例は本人や家族の障がい受容の時期が早く、理解もあり好事例だと感じた。

9 班

- ・就労相談は、遠慮せずに条件をはっきり伝えた方がいい。
- ・家族間のコミュニケーションは大事。必要な相談先にも繋がりがやすい。
- ・当事者の「家族が明るいので感謝している」という言葉が印象的だった。

Zoom 班

- ・地域に戻ってからの過ごし方がわからなかったので、第1部で日常生活等の話が聞けてありがたかった。
- ・病院といっても、急性期と回復期だと関わり方が違う。急性期病院でも退院後の日常生活等まで考えて対応することが必要だと感じた。
- ・病院で障がいの説明をするが、家族はできなくなったことに注目する傾向がある。
- ・単身の当事者は家族と同居している方より課題が多い。
- ・一人で過ごす時間は寂しいし、支援がないと外出もできない。